

TT通信

2019|2
第2号

発行責任者
田中達也

香川県三豊市詫間町詫間 3905-3

ここが**気**になる !!

第2次三豊市総合計画
三豊市グランドデザイン
AI拠点整備

みんなが知らない議員のルール



活動報告

9月議会 一般質問
12月議会 一般質問
行政視察

TT通信第2号発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

新年のご挨拶には少し時期が遅くなりましたが、政治家は年賀状送付を公職選挙法で禁じられているため、本報告書をもって替えさせていただきます。

早いもので、市議選出馬から一年がたち、3月、6月、9月、12月と、一通りの定例議会を経験しました。

この間、市民の皆様方からご相談をいただいた件について、市役所に掛け合ったり、内容によっては一般質問に取り上げ、より良い市政の実現に向かって取り組んでまいりました。

また行政視察や議員研修など多くの経験もさせていただきましたが、まだまだ力不足を感じています。

もともと市民の皆様からご相談をいただけるように精進してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

好評!!桜の木チャンネル 議員広報はライブが旬

田中・湯口の新人議員二名で立ち上げた会派「桜の木」と二人の議員活動を、皆様に知っていただきたいという思いで始めたフェイスブックライブによる動画配信「桜の木チャンネル」。

一般質問で取り上げた内容をわかりやすく説明したり、いま問題になって

▼初ゲストを迎えての配信（1月）



いること、取り組んでいることなど、旬の話題について、視聴者の皆様とコミュニケーションをとりながら、2018年中には、5回の配信を行いました。

うれしいことに、先日ある新聞記者から「桜の木チャンネルいつも見てますよ。一般質問も面白かったです。」と褒めていただき、「新しい議会に変わっていくためには、必要なことだ。」とも言っていただきました。

若い市民に伝わりやすい情報発信の手段や、面白い・興味深いと思ってもらえる内容について、考え、実践していくのが、私たち若手議員の役割の一つだと思っています。

視聴者の皆様には概ね好評なようですが、視聴数やコメントはまだまだ少ないのが現状です。多くの市民の皆様と双方向でやり取りがしたいと頑張っておりますので、是非一度生でご覧ください。



▲桜の木
Facebook
ページ

9月議会 一般質問

▼質問動画



7月豪雨災害で三豊市も多くの被害を受けました。詫間町では2集落が孤立



▲崩落したごまじり地区に向かう道

するなど、混乱も生じました。そこで感じた問題点と他1点について質問しました。

豪雨災害における避難指示 （緊急）の結果について

7月豪雨災害において、財田川決壊の可能性が高まったことから、豊中町（本山・上高野・桑山地区）に対して「避難指示（緊急）」が3496世帯、9171人に対して発令されました。

これに対して、計4か所開設された避難所を利用したのは278人で、対象区域の3%です。避難所を利用せず、親類等を頼った方、移動が困難で自宅の二階など、垂直避難を行った方などもありつしやると思いますが、「これはまずい」と思いました。

結果的に堤防の決壊は回避され大きな被害は出ませんでした。しかし危機的状況にはあったのです。もし決壊し

ていれば大きな人的被害が発生していたでしょう。

危機管理課に問い合わせたところ、避難指示の発令、告知方法等については適切に行われていたようです。ではなぜ避難が行われなかったのでしょうか。

はつきり申し上げて、危機意識が低かったのだと私は考えています。

そこで今回の一般質問では、市の対応を問うのではなく、適切な避難が行われなかった原因の分析と、市民への呼びかけをお願いすることとしました。現在は、市長自ら色々な会合で注意喚起をいただいています。

アスリートの育成支援について

バドミントンの桃田選手が世界選手権を制するという嬉しいニュースがありました。地元出身のトップアスリートの活躍は、三豊市の知名度向上、郷土愛の醸成につながります。

しかし活躍するに至る過程では、所属するチームの会費、用具費、遠征費など多くの費用が発生します。そのためには家族のサポートが必要ですが、



▲表敬訪問の様子

才能に恵まれた子であっても、金銭的負担を理由に断念するケースもあるようです。

現状の支援は、全国大会等に出場が決まった選手が、市長表敬訪問を行った際に、市長交際費から個人に5千円、団体に5万円（上限）の激励金を手渡しているとのこと。これについては、さらなる支援を検討していただくようお願いしました。

また、生徒数減少により、中学部活動の競技数も減り、単一校での多人数種目の維持が困難になるなど、スポーツ教育は難しい問題を抱えています。

部活動だけに頼るのではなく、地元クラブチームが活発になれば、子どもたちが幼いころから続けていたり、やってみたいと感じる競技に取り組むことができ、また専門的な指導が受けられるため、支援をお願いしました。

今後は、教育委員会の管轄で支援を検討していただけるということです。

12月議会 一般質問



▼質問動画

今議会では、12月22日から開催中である三豊市PRイベント、「みとよクエスト（冬を攻略編）」と、6月議会で取り上げた「空き家バンク」制度について質問を行いました。

みとよクエスト

冬を攻略編について

昨年は、「夏はみとよだ！」と題し、三豊市全体を一つのテーマパークと見立てて三豊市を盛り上げるプロジェクトが好評を得ていました。

今年は、冬に開催ということで、その意図と、イベントの詳細について質問しました。

お客様の三豊市内での滞在時間を増やし、消費を拡大することを目的に実施するもので、父母ヶ浜を中心に若い観光客が増えてきたことから、若者をターゲットにスマートフォンアプリを活用したPRイベントを企画したとのこと。



▲周遊 Web アプリ

私からは、SNS上での効果的なPRや、イベント実施後の効果測定について、お願いをしました。

本企画は2月28日まで開催されています。のぼりのあるお店で「みとよクエスト」の合言葉を唱えると、サービスが受けられたり、Webアプリでポイントがためると、豪華賞品が当たる

抽選に応募できます。是非市外のご友人と一緒に参加ください。

空き家バンク制度について

6月定例議会で取り上げた、「農地付空き家」への対応について、その後の経過を伺いました。

空き家に小さな農地が付随している場合、現状では規定された面積（詫間2反、その他3反）以上営農している農家でなければ買えないのですが、農地取得の下限面積を引き下げる対応をお願いし、移住希望者でも買えるようにしようというものです。

農業委員さんに対する意識調査も行っていたため、概ね肯定的な意見が多かったことから、前向きに検討をしていたらいいとのこと。多くの移住者に注目していただければ、少しでも早く実現することが必要だと考え、引き続き取り組んでまいります。

行政視察について

10月29～31日、議会運営委員会の行政視察で東京都多摩市・立川市、神奈川県藤沢市に訪問しました。

三豊市議会では、内容的に市民のニーズとマッチしていないと感じており、他の自治体は市民との対話をどのように

行っているのか、興味深く視察してまいりました。

また、多摩市では、私と年齢の近い女性議長である、岩永ひさか氏と交流する機会を持つことができました。有意義な学びの時間となりました。

次に11月20～21日、市民病院建設調査特別委員会の行政視察で、熊本県の「球磨郡公立多良木病院」と、岡山県の「瀬戸内市民病院」に訪問しました。

▼瀬戸内市民病院



三豊市から永康病院建て替えの方針が

示されたことにより、参考となる公立病院を調査するためのものです。

建て替え以前に経営改善を図ること、医師・看護師等の人材確保、スタッフの意識改革、地域住民との交流など、多くの課題について学びました。

行政視察については、現地まで行かずとも資料やネットで十分ではないかなど、否定的なご意見をいただくことがあります。調査対象とした自治体があるところは、調査対象とした自治体があるとは分らないと考えます。勢いのあるまちは駅からして違っているのです。

このような学びの機会をこれからも大切にしていきたいと考えています。

三豊市第2次総合計画

12月定例議会において、今後10年の基本計画と前期5年の基本計画が承認されました。

これを基に実施計画が策定され、施策が展開していきます。皆様も是非一度お目通しください。

!!ここが**気**になる

三豊市ブランドデザイン

現在三豊市では、「三豊市シティブランド及びブランドデザイン構築」について、電通西日本高松支社に委託し、取り組んでいます。市のトータルコンセプト（三豊の顔）を明らかにする「シティブランド」、将来のまちのありかたを表す「ブランドデザイン」について検討されています。調査の一環として、市民ワークショップも開催されており、参加・傍聴も可能です。これからの市政には、住民参加が重要です。是非ご参加ください。

A-1拠点整備

「ディープラーニング」分野の第一人者として知られる、坂出市出身の東京大学大学院松尾豊准教授の研究室と、三豊市、香川高専が、2018年8月、連携協定を結びました。この計画の一部となるA1拠点として、松尾研究室のサテライト分室が、三豊市財田庁舎内（元議場）に設置されることが決まりました。

みんなが知らない 議員のルール

議員になってから感じるようになったのですが、市議会議員の仕事やルールが、あまり世間に認知されておらず、昔ながらの何となくなイメージで評価されているように思います。そこで、私が議員になって驚いたことを、今号から少しずつ紹介していきます。

政治家は年賀状を 送ってはいけない

公職選挙法で、「答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞、暑中見舞その他これらに類する挨拶状を出してはならない」と定められています。候補者の貧富の差が選挙結果に反映されないようにという趣旨があるそうです。

代理の者が冠婚葬祭に出席する 場合は、祝儀・香典を渡しては いけない

公職選挙法で「政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀・葬式や通夜における香典」を除き、金品の寄付は罰則をもつて禁止されています。

このようなルールはあまり知られておらず、法令遵守をすることで、礼を欠いていると受け取られることも少なくありません。

代理が認められないためか、議会を抜けて告別式に参列する例もあるようですが、これは身内のものでない限りやるべきではないと考えています。お付き合い重視で実の無い政治にならないよう、ルールに従って精一杯取り組んでまいります。

ITコーディネータ 資格を取得しました

企業のIT導入をサポートする人材を示す経産省推進資格ですが、自治体のIT利活用についても、専門的知見を活かしてチェックしていきます。



後援会入会をお願い

後援会に入会していただいている方に、TT通信をお届けしています。今後は、報告会開催のお知らせもしていきたいと考えておりますので、お気軽にご入会下さい。お手続きは、田中たつやWebサイト、メール、お電話で承ります。

ご意見・ご要望お待ちしております

田中たつや Web サイト
<https://tt.mitoyoshi.com>
Email tt@mitoyoshi.com



田中たつや事務所
三豊市詫間町詫間 3913-1
有限会社たなか 内
TEL 0875-83-2264

編集後記

今回の表紙は、詫間町公民館第三分館の芸能祭りにゲスト出演させていただいたときの写真です。浦島太郎伝説PRのために「海の声」を歌いました。やたら幅の広い浦島太郎ですが、似合うでしょうか？

日々の活動に追われ、編集作業も配布も後へ後へと押し回してしまい、皆様にお届けするのに時間を要しておりますが、何卒ご容赦ください。今後も田中たつやの活動にご注目ください。

田中達也